

SOUND CAMP

出演 — 角銅真実 ほか数名

日時 — 2019年9月16日(月・祝) 16:00-18:00 参加無料

会場 — 富岩運河環水公園内 富山県美術館プロムナード

※荒天時は富山県美術館2階ホワイエ

ABOUT

この夏のFUJI ROCK FESTIVAL 2019にも出演し、はたまた美術家との作品制作も行うなど、活動の幅を広げている注目の音楽家・打楽器奏者の角銅真実が、仲間を連れて富山にやってきます。

少し暑さも和らぐ9月の公園を、空や水辺や風や木々を感じながら、音と過ごすSOUND CAMP。

環水公園という屋外の場で、音がキャンプをしているような、音楽がつくりだす環境のなかでキャンプをしているような、始まりも終わりもない自然の時間のように流れる音の空間を、2時間という一片にしてお送りします。キャンプを過ごすように、環水公園に流れる時間を思い思いにお楽しみください！

ACCESS



富山県美術館
アート・デザイン

問い合わせ連絡先：富山県美術館 普及課
〒930-0806 富山県富山市木場町 3-20
TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712
美術館開館時間 9:30-18:00 ※展示室入場は 17:30 まで

PROFILE

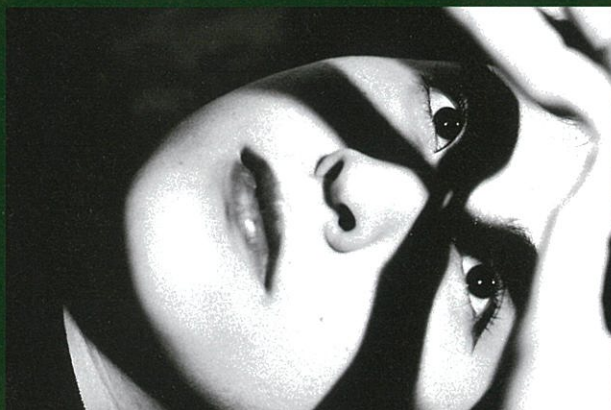


Photo by Tatsuya Hirota

角銅 真実 MANAMI KAKUDO

長崎県生、音楽家 打楽器奏者。打楽器、自身の声を用いて、様々なライブサポート・作品制作に携わる他、CM、映画、ダンス作品の音楽制作など、作家としての自由な表現活動を国内外で展開している。2017年7月に1stソロアルバム"時間の上に夢が飛んでいる"、2018年8月に2ndアルバム"Ya Chaika"をリリース。2018年、ポーランド ワルシャワのKrolikarnia美術館で展示されたインスタレーション形式の映画、Square/Karolina Breglaの音楽、イギリス ロンドンのサーペンタイン・ギャラリーでアーティストのBahbak Hashemi-Nezhadのプロジェクト"On What Ground"の音楽を担当。cero、ORIGINAL LOVEをはじめとする様々なアーティストの作品やライブにパーカッションで参加するなど打楽器奏者としての活動のほか、原田知世のアルバム"L'Heure Bleue"に作詞家として歌詞を提供するなど最近はや言葉にも表現領域を広げている。

日本の美 美術×デザイン [琳派、浮世絵版画から現代へ] 10月20日まで開催中

富山県美術館ホームページ <http://tad-toyama.jp>